



国鉄本社長瀬旅客課長を囲み話し合いを行なう秋田、山形の代表

修学旅行専用電車「日の出」「きぼう」や東海三県の「こまどり」に続いて、東北地方の秋田・山形・福島を結ぶ奥羽本線沿線にも今秋から修学旅行専用列車が実現することになった。東北地方より東京方面への修学旅

行は、交通輸送が大きな障害にならぬことになり、各学校がバラバラに申請して増結する方法がとられている。

この不便を解消するために去る四月七日東北三県修旅委員会の代表

(秋田県教育長渡辺謙氏外十三名)が国鉄本社の長瀬旅客課長(西田秀雄)と面談してその事情を訴え、専用列車を運行することに決定したわけだ。

支社長に対し折衝した結果、来春

六日に宣り秋田鐵道管理局、東北

支社長に対し折衝した結果、来春

六月に宣り秋田鐵道管理局、東北

秋より修旅列車実現

各県修旅委の国鉄陳情みのる

温情示す長瀬課長

秋田、山形代表等と一問一答

この結果、今まで修学旅行の輸送の八〇%が普通列車へ増結され、生徒の管理が不十分だったこと、三人掛けが多いこと、契約が手間取ったこと、事故があったことなど、多くの要件がほとんど解消されたことになり、暗い修学旅行が安全で快適な修学旅行になる。

生徒や父兄を喜ばせている。

となどの要件がほとんど解消さ

れることになり、暗い修学旅行が安全で快適な修学旅行になる。

この結果、今まで修学旅行の輸送

の八〇%が普通列車へ増結され、

生徒の管理が不十分だったこと、

三人掛けが多いこと、契約が

手間取ったこと、事故があつたこと

などが多かつたこと、契約が

手間取ったこと、事故があつたこと

などが多かつたこと、契約が